

福井いきいき会新聞

2020年7月発行：福井いきいき会：福井市中央1-9-29：0776-28-6464 発行責任者 吉岡副会長

一生勉強 一生感動 一生青春 (第19号)



花ハス公園のハス

再開後のサークル活動の報告

再開後の最初のサークル活動は、経済指標を考える会でした。コロナ感染拡大によって株式相場が大きく下落し、三月中旬に最安値をつけ、そこから徐々に回復してきています。今後どのようになっていくのか、講師の酒井氏は、毎回日経平均株価の上昇や、下降要因を紹介し、ダウ平均、ナスダックなどの諸指標分析し、日経平均株価の予測値を示されます。六十万円以下で購入できる地

元銘柄や、時価総額ランキング上位の特定銘柄の株価の推移など、盛り沢山のデータを示されます。

スマホ勉強会は、佐藤氏夫妻が講師となつて、スマホを活用して会員の毎日の生活を楽しく豊かにすることを目的にスマホの使い方勉強しています。

スマホで家族・知人と楽しく簡単にコミュニケーションが取れる事を最優先とし、LINEの勉強会からスタートしました。今では、参加者らは、離れた家族や会員間とチャットやビデオ通話で連絡を取り合っています。

さらには、写真の保管、古い写真の再生、自身の行動経路の確認、花の名前の調査のほか、コロナ感染者の接触確認アプリの使い方勉強し、毎日の生活を豊かにしています。

ピンポンの会は再開後もう五回も開催しています。毎回三十人ほどが集まり、三台の卓球台を使って、好きな相手とラリーを楽しんでいます。息苦しいのでプレー中はマスクを外す人が多いますが、休憩時間にはしっかりとマスクをして感染予防をしています。



ピンポンの会の様子

卓球台は終了後きれいにアルコール消毒をしています。片付けるときはピンポンが再開できるとしても、喜ばしいこととです。

うたごえ広場(七月)は、第二回目が開かれました。三十分ごとに、休憩を設け、講師の辻さんのリードで懐かしい歌十五曲をうたいました。歌詞はスクリーンにプロジェクターで大きく映してあります。今回は、福井市役所の地域包括センターの責任者西田氏が、最後まで参加してくださり、高齢者の集まりにとつて素晴らしい会だと感想を言っておられたとのことでした。

映画鑑賞会(六月)は、「恐怖の報酬」と言う映画でした。大規模な油田の火災を消すには二トログリセリンを爆発させて、吹き消すしか方法がありません。大きな報酬をねらった四人

の志願者が二台のトラックに満杯の二トログリセリンを積んで山道を運んでいきます。途中道路をふさぐ大きな岩があったり、先行した一台が大爆発して吹っ飛び、そのあとにできた大きなくぼみに漏れた原油がたまった道をトラックが進んでいくなど、スリル満点で最後はたった一人の運転手だけが、現地に到着しました。しかし、この映画の結末は、大きな報酬をもらつた本人が喜び勇んで帰る途中に、トラックもろとも崖から転落死するというものでした。

よろず討論会(六月)は、十四名が参加しました。この日の討論テーマは、コロナ感染拡大防止のための外出自粛期間をどのように過ごされたのかで、参加者それぞれその過ごし方を紹介してもらいました。一般社

会では、テレワークや、カード決済などが進められましたが、会員の方々は、健康維持のために、自転車やウォーキング、筋力増強の運動をしたり、食事に注意しながら生活をされたようでした。

易しい科学の話(七月)は、「コロナ時代のテレワーク」とは、という題で、外出自粛の間、会社以外の場所でする方法が、意外と有効で、新しい働き方として評価さ

れていることを紹介いたしました。今回は、会場に三台のパソコンを用意し、ソフトZOOMを使った電子会議のデモを行いました。将来は、よろず茶屋で行われるサークル活動に、自宅から参加することも、案外簡単にできるかもしれません。

カラオケうた会 カラオケ館で行う当サークルは、感染のリスクが高いので、六月は自粛しましたが、七月は、万全の感染予防対策の下で、再開しました。参加者は、九人と、いつもの六割程度、時間も半分の二時間でいきました。検温、手指の消毒のほか、唄う時もマスクあるいはフェイスマスクをつけて、マイクは、歌い終わったらマイク専用のスプレーで除菌をする、菓子類は食べないことなどを徹底しました。九人は、それぞれ四曲を歌い、楽しい会となりました。



フェースシールドをつけて歌う参加者

